



焼け落ちた小田原通商銀行新本店（当時小田原町幸1丁目）



橋桁がはずれた熱海線の玉川橋梁（当時片浦村石橋）

近代化vs巨大地震…関東大震災から90年！

～図書館所蔵写真から～

今から90年前の大正12年（1923）9月1日の土曜日。子どもたちは2学期の始業式だったので、早々に帰宅していた。もうすぐお昼という11時58分、激震が小田原町（当時）を襲った。相模トラフで発生した海溝型巨大地震（推定マグニチュード7.9）は関東大地震とよばれており、東京・横浜を中心に多数の犠牲者を出した。震源にもっとも近かったのが小田原である。

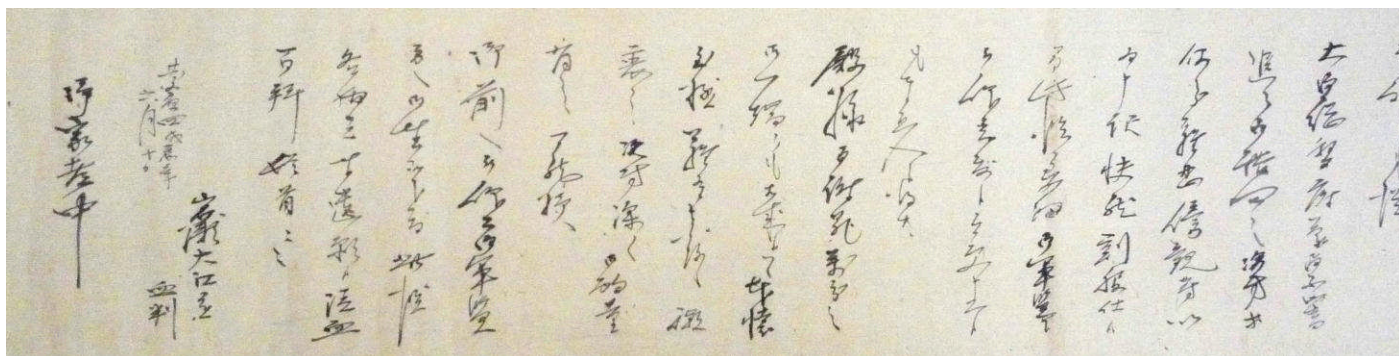
震度6と推定されている激しい上下動により、多くの家屋は倒壊した。柱の強度が不十分な木造家屋は揺り潰れ、べしゃんこになって屋根だけの家や、1階の上に2階部分がのっかった姿も見られた。昼餉の仕度時間であったため、各所で火災が発生し、さらに犠牲者を増やした。戸数でみると小田原町5,155戸のうち全半壊が47%、焼失が41%、合わせると88%を超えた。大窪村・下府中村・上府中村など倒壊率100%の村もあった。小田原城の石垣も無惨に崩れ落ちた。

当時は、第一次大戦後の好景気によって地方にも工場・企業の進出が相次ぎ、地場産業の成長を促し、都市化・近代化の波が小田原にも及んでいた。単なる洋風ではなく、酒匂橋（国道1号）や小田原通商銀行の新本店など、耐久・恒久を謳った鉄筋コンクリート製の建造物も造られはじめていた。

また、時の政府は御殿場廻りの東海道線に替えて、小田原・熱海廻りのルートを選択。大正9年には、国府津～小田原間に支線熱海線が開業、同11年には真鶴まで開通していた。最新の技術を投入したはずの橋梁も無傷では済まず、根府川駅はホーム・列車ごと「山津波（山崩れ）」に飲み込まれた。

これら文明開化という近代化の遺産にダメージを与えた大震災。将来を見すえたインフラ整備など、本当の意味での小田原地域の近代化は、この震災ののちにはじまるといってよい。

切腹前に家老が残した遺願書 ～収蔵資料の紹介～



岩瀬正直氏寄贈資料 No.38 軸装書状（部分）

平成24年度寄贈された岩瀬家文書から、戊辰箱根戦争後に切腹した、小田原藩家老岩瀬大江進（当時51歳）が同僚の重臣に宛てて、大総督府軍監への取りなしを依頼した遺願書（写）を紹介します。

岩瀬家文書は小田原市指定文化財にもなっている近世・近代の古文書等（131点）で、小田原市立図書館の寄託となっていました。自宅で保管されていたこの遺願書も含めて今回当館への寄贈となりました。関東大震災をくぐり抜けて残った数少ない小田原藩大久保家の藩政史料だけでなく、江戸初期の小田原城下を描いた小田原古図（通称「加藤図」）や武州騎西之絵図など、貴重な資料が含まれています。詳しくは『小田原の近世文書目録』3（小田原市立図書館、1984年）の文書解説をご参照ください。

さて、すでに勤王声明を東征大総督に伝えていた小田原藩でしたが、慶応4年(1867)5月20日、決起した旧幕府陸軍の遊撃隊に理解を示し協力してしまいます。小田原にいた藩主大久保忠礼は直接に指示した訳ではなく、また江戸留守居中垣斎宮（謙斎）の説得で藩論を勤王に返し、箱根山中での遊撃隊掃討戦で全力を尽くしたのですが、何らかの小田原藩大久保家の処分が予想されました。

家老渡辺了叟ら重臣4名が取り調べのため大総督府に呼ばれ、小田原より江戸へ護送され、駐屯していた官軍が小田原より引き払った6月10日の夜、糾問を免れた岩瀬大江進は自宅で切腹を遂げました。遊撃隊との和睦交渉には加わらなかった大江進でしたが、勝手掛であり、遊撃隊に資金提供をしながら、その受取（領収書）を貰い忘れたことに責任を感じていました（「脱走人も金穀等差送候義更々不相心得、職掌も不相立、心外至極之義と奉存候」）。もちろん、「殿様御謝罪万分之御一端二も相成候ハ、本懐至極」が、大江進の一分であります。時を同じくして、小田原宿や領内の寺社、小田原藩士一同からの藩主忠礼への寛大な処分を願う歎願書が出され、9月27日、永蟄居・減封処分が決定し、小田原藩は存続を許されることになります。

血判された本物の遺願書が願い通りに小田原藩の重臣から大総督府の軍監に届けられる前に、素速く書き写されたものと推測できます。遺願書は軸装され、後日、大江進のひ孫岩瀬瀛氏に譲られることになります（岩瀬瀛『我が家の歴史』私家版、1964年）。

小田原市立図書館地域資料室 利用案内

小田原市立図書館(星崎記念館)2階
 年中無休(第4月曜の特別整理日、年末年始を除く)
 資料の出納・ご相談は9時～12時、13時～16時45分に承ります
 室内の資料は原則貸し出しいたしません
 ＊貴重資料の閲覧：事前の閲覧申請・ご予約をお願いいたします

【編集後記】

地域資料室前にて、写真展示
 「近代化vs巨大地震…関東大震災から90年！」を始めました。図書館にお越しの際には、ぜひご覧ください。